



# わが家の防災会議

日ごろの**備え**が、いざというときに**役立ちます**。

## 家族会議を開こう

ときどき家族みんながそろって、災害への備えや心構えを話し合うことは、たいせつな防災対策です。勤めなどで家族が離れている時の連絡手段や避難方法などがテーマです。

### ◆話し合っておきたいこと

#### ◎役割分担をしっかりと確認

・非常用品の点検と購入、要援護者の安全確保の担当など

#### ◎緊急連絡方法を確認する

・離ればなれになった時の連絡方法、災害用伝言ダイヤルの使い方

#### ◎非常備蓄品、非常持ち出し品などの確認

・非常持ち出し品は所定の場所にあるか、消火器などの点検も

#### ◎避難場所・経路・避難方法の確認

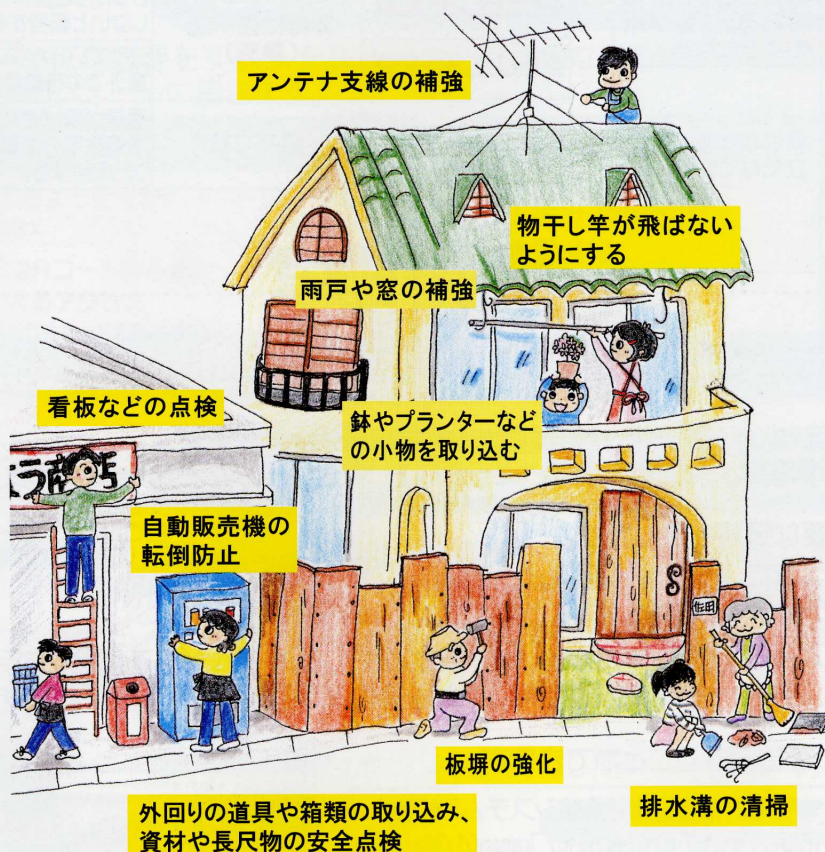
・いざ避難という時の場所は？ 安全な経路は？

#### ◎家の周辺の危険箇所の確認

・過去の災害箇所や崩壊危険箇所、土石流危険箇所などの確認



## 家の内外の点検をしておきましょう



### その他

- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定する。
- 庭木にはそえ木をしておく。

### 台風や集中豪雨への備え

- 「ブロック塀」は強風で倒れる危険性があります。ひび割れや破損箇所があれば修理しておきましょう。

- 「側溝」や「雨水ます」の周りや上に物を置かないようにし、その周りはいつも掃除をしておきましょう。

- 浸水被害を防ぐために、土のうを早めに用意しておきましょう。

- ◆ゴミ袋を使った簡単な土のうの作り方  
ゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れ、すきまなく並べる。ダンボール箱に入れば強度が増します。





# 被害を減らす風水害知識

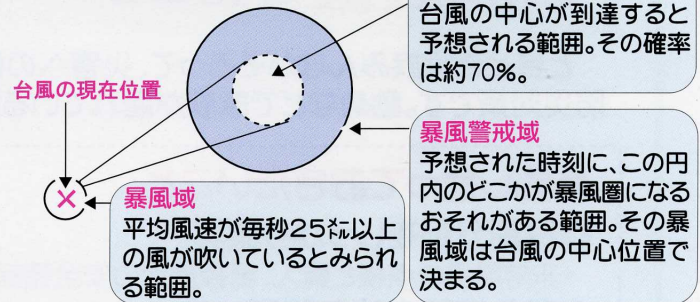
日ごろから**気象情報**に**注意**しましょう。

## ◆台風とは？

- 強風と大雨の両方、またはどちらかを伴った「熱帯低気圧」のこと。
- 熱帯低気圧とは、北緯5度～20度の間の北西太平洋上に発生する低気圧。これが風速17.2m/s以上のエネルギーに発達すると、「台風」と呼ばれます。



## 台風の進路予報



## ◆雨量とは？

- 降る雨が流れ去らないとして、その深さを測り、ミリメートルで表すのが「雨量」です。
- 雨量は一般に、1時間あたりの雨の量を発表します。

### ■雨量

| 1時間雨量(mm) | 予報用語                              | 影響                     |
|-----------|-----------------------------------|------------------------|
| 10以上20未満  | やや強い雨<br>(ザーザーと降る)                | 地面からの跳ね返りで足元がぬれる       |
| 20以上30未満  | 強い雨<br>(どしゃ降り)                    | 側溝や下水、小さな川があふれる        |
| 30以上50未満  | 激しい雨<br>(バケツをひっくり返したように降る)        | 傘をさしていてもぬれる。道路が川のようになる |
| 50以上80未満  | 非常に激しい雨<br>(滝のように降る[ゴーゴーと降り続く])   | 傘はまったく役に立たなくなる         |
| 80以上      | 猛烈な雨<br>(息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖感を感じる) |                        |

## ◆風力とは？

- 1秒あたりの平均の風の速さを「風力」といっています。
- たえず変化しているので、ある任意の瞬間の速さをとらえて「瞬間風速」としています。

### ■風力

| 平均風速(m/s) | 予報用語           | 影響                         |
|-----------|----------------|----------------------------|
| 10以上15未満  | やや強い風          | 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。      |
| 15以上20未満  | 強い風            | 風に向かって歩けない。転倒する人もいる。       |
| 20以上25未満  | 非常に強い風<br>(暴風) | しっかりと身体を確保しないと転倒する。        |
| 25以上30未満  |                | 立ってられない。屋外での行動は危険。         |
| 80以上      | 猛烈な風           | 屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まったりする。 |

(出典:気象庁資料「雨と風の表」)

## 気象情報を集めよう

大雨や台風のときには、テレビやラジオ、インターネットなどで気象情報を確認し、防災対策や避難準備をしておきましょう。

- **防災行政無線**では、町から必要な情報を流します。  
※電池や受信状況を確認しましょう。また、受信機の電源スイッチは、常にONの状態で使用し、コンセントの接続も確認しましょう。
- **ケーブルテレビ「佐用チャンネル」**では、河川が増水し、被害が生じるおそれがある場合、佐用チャンネルの放送を切り替えて、町内11箇所に設置した「河川監視カメラ」の動画映像を流します。
- **携帯電話**から、河川の状況などを確認することができます。



◎電池は年1回以上定期的に交換しましょう。受信機の電源ランプが赤色で点滅して、「ピーピー」という音が鳴れば電池が消耗しています。

### ◆国土交通省「川の防災情報」

<http://i.river.go.jp/>

右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください。



### ◆千種川流域河川情報システム「水守」

<http://www1.winknet.ne.jp/~kasen01/ktai.html>

右のQRコードを携帯電話で読み取って、アクセスしてください。



「河川監視カメラ」の動画映像



# 風水害発生時の避難

早めの**避難**が家族の**命**を守ります。

## 避難情報を入手して 早めに行動しよう

避難のための情報は、町の防災行政無線や「さよう安全安心ネット」などを通じて、住民の皆さんに伝えられます。自主的にこれらの情報をキャッチして、より安全な避難のために役立ててください。



**避難情報発令**  
3段階に分けて発令

### ■3段階の避難情報

|        |              |                                                   |
|--------|--------------|---------------------------------------------------|
| 避難準備情報 | 避難の準備を始めましょう | 高齢者や障がいのある人など、避難に時間を要する要援護者が避難行動を開始しなければならない段階です。 |
| 避難勧告   | 避難を始めてください   | 避難を拘束するものではありませんが、避難のための行動をすすめる段階です。              |
| 避難指示   | ただちに避難してください | 被害が発生する危険性が高い場合に出されます。避難勧告より拘束力が強い。               |

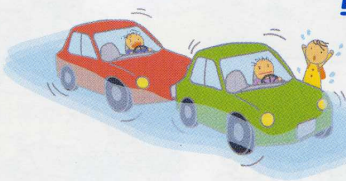
## ◆水害発生時の避難の心得

水害時に避難するときは、危険な水路や川のそばを避け、できるだけ安全な経路を通りましょう。  
また、強風を伴った際は、垂れ下がった電線や看板など、頭上にも注意を払ってください。



### はだしや長ぐつは厳禁

くつはひもでしめられる運動靴。長ぐつやはだしは厳禁です。動きやすい安全な服装で避難しましょう。



### 車での避難はさける

車による避難は、渋滞を引き起こす原因となり、災害に巻き込まれる恐れがあります。

### 要援護者に声かけを

隣近所の高齢者だけの世帯や障がいのある人など援護が必要な人に声をかけて、避難の準備を促しましょう。



### 運転をやめて高台へ

車は約30cmの浸水で、走行困難になります。運転をやめて、早めに高台に移動しましょう。



### 川には近づかない！

急な増水などの危険があるので、川には近づかないようにしましょう。雨が降ってなくても、サイレンなどが聞こえたら、すぐに避難しましょう。



### 2階への避難も

周辺道路が冠水している状況では、避難所まで向かわず、自宅や近隣の2階に避難するようにしましょう。